

メアブッシュ

を5分で知る

中心部及び郊外



メアブッシュ

とても素敵な市にご招待

広大な土地、野原、畑。メアブッシュ（海と低木地帯の意）という名が表す通り、常にライン川沿いの豊かに広がる土地が、近郊に住まうメアブッシュ市民の生活の豊かさを表しています。11kmほど続くライン川沿岸は、メアブッシュ市民も称える素晴らしさです。

メアブッシュ市には億万長者が住んでいる？はい、それも事実です。公園の様に緑豊かな敷地には、表札の無い玄関チャイムがついた錬鉄製の大きな門扉が構え、19世紀初頭の建築様式の大邸宅が建っています。

しかし、それこそがメアブッシュ市の特筆すべき点なのでしょう？いいえ、そうとは言いません。メアブッシュ市には、他にもたくさんの魅力にあふれています。メアブッシュ市のことを知りたいのであれば、町々の多様な面に足を踏み入れ、そしてそれぞれが「特別」な特徴を持つ八つの地区・地域を訪れるべきでしょう。都会の喧騒という表現が似合うお洒落なビューダリッヒ、素朴な田舎の味わいが楽しめるライン川沿岸や、アットホームで温かみのある雰囲気のレストラン・ラットウム。レストラン・ラットウムには聖シテファヌス教会と昔から続く市場があります。

メアブッシュ市内は楽しめる所？ええ、もちろん！

メアブッシュ市とライン川下流地域の景色が子ども連れのご家族に最適なだけでなく、そこには非常に便利な生活環境が備わっています。職場への通勤距離が短いおかげで、家族やレジャー、スポーツ、趣味などの充実した時間をより楽しめます。また、メアブッシュ市は大都市に近いだけのベッドタウンではありません。市の中心部には、11,000人を超える就業者がおり、有名企業が地場の名をさらに広め、メアブッシュ市から良い会社を輩出しています。

メアブッシュ市で育つ子どもや青少年たちには世界に門戸が開かれています。市が各学校を支援しています。ギムナジウム2校、総合学校、商業専門学校、基幹学校、小学校への多岐に渡る支援により各々が充実しています。文化的教育でも、メアブッシュ市は近隣の市に引けを取りません。市立音楽学校はその素晴らしい芸術音楽において進んだ指導を行っており、VHS（市民大学）も様々なアイデアを巡らせ社会人教育に貢献しています。

メアブッシュ市の構造は最高の利便性で、便利な居住区としても知られています。高速道路や鉄道路線はヨーロッパ全土と繋がっており、デュッセルドルフ空港は世界へと繋がっています。近隣諸国にも近く、オランダには車で約30分の距離です。

メアブッシュ市には芸術家が？なんとたくさん！

なんとまあ、散歩する人でさえ芸術作品を考え付くと言われるほどです。もちろん、メアブッシュ市は日常的に芸術の町とも呼ばれています。それを裏付けるかの様に、芸術関係の団体が5組、メアブッシュで活動・展示をしています。

ランク・ラットゥムに在る、旧西ドイツ・映画作品にもなった給水塔は芸術仲間に絵画芸術文化の道を開きました。ランカー・オーツケルンに小さな芸術劇場を映画館に改築した「フォーラム・ヴァッサートウルム」で、ミュージカルの一種であるレビューが人気を博しています。ログラー、ベッカー、ブッセ、ピスパース、プリオル、そして「即興劇場スプリングマウス」で活躍する劇場スターや期待の新生たちでさえ、ライン川沿いの道を伝って観に来るほどです。

お仲間のディーター・ヌール氏もメアブッシュの道を良く知っています。ここは彼が特に早期にTV出演していた頃の稼ぎ場所だったからです。別の場所に豪華な宮殿を構えてもヌール氏が未だに「給水塔」に来るのも不思議ではありません。おそらく彼は、気兼ねせず自由な自然あふれる典型的なラインの雰囲気や漂うメアブッシュの味わいが好きなのでしょう。それか、レビューに夢中なのかもしれません。「Meerbusch - einfach Nu(h)r gut（メアブッシュは、ただ率直に素敵という表現が似合う場所 *ヌール氏のNuhrと『ただ』のnurをかけてみました）！」

メアブッシュ市は観光地？もちろん！

近年ますます多くの人がメアブッシュを観光スポットとして注目しています。緑の中をサイクリング、週末にはデュッセルドルフの旧市街散策、堤防の上をインラインスケーティングなど、ライン川の畔で憩いのひとときを楽しむことができます。

ライン川がひかえもつ環境は、素敵なお見どころとして昔から人々に親しまれています。先ずローマ人に始まり、それからフランク族、次いでフランス人、そしてプロイセン人と、あらゆる人種が今日メアブッシュ市の在るこの場所で栄華の道を歩もうとしました。

今では日本人にさえ人気を博す場所、それがメアブッシュ市です。全体で約54,000人いるメアブッシュ市民人口の内、およそ800人が「日出ずる国」から移ってきた日本人たちです。人口数でいえば、ドイツ国内で一番日本人が多いコミュニティが存在します。

また、フランス・日本の都市とメアブッシュ市は友好都市提携を結んでいます。ブルターニュ地方のフェナンとは姉妹都市として既に40年以上の歴史があります。2010年からは、メアブッシュ市は大阪に近い四条畷市と友好都市提携を結んでいます。

地区・地域

ビューダリッヒは市の大区画でおよそ 21,000 人が居住しています。そして、デュッセルドルフに近いだけでなく市の中心地として賑やかな町です。町の大通りにはシックなブティック、メアブッシュの高級住宅街には洗練された不動産物件、ニーダードンクには田舎の田園風景、ペーラーのエリアには様々な企業が在りますが、これら4つはいずれもメアブッシュ南部の特徴です。聖霊降臨の日には、ビューダリッヒが市一番の射撃祭の観劇場となります。ビューダリッヒの役所には市長室もあります。

オスタートは産業区画として造られたエリアで、現在は市役所公園や食堂街、芸術劇場そして歩行者ゾーンが魅力的なスポットです。宵の更ける時間、食事と素敵なライブ・ミュージックのコンビを楽しみたい人はオスタートがお勧めです。教区教会の聖ニコラウスも一見の価値ありです。オスタートの風車が在る彫刻公園では、市が誇る有名な芸術家ヴィル・ブリュール氏がマタレ校の学生と活動しています。企業が多く集積する地域「モルスフェルド」北部には国際的にビジネスを展開している企業も所在しています。

ランク・ラットウムは 80 年代を思い起こさせる中心地として特に有名です。聖シュテファヌスと昔ながらの市場は、19 世紀を思い起こさせるミゾーリ広場にレストランやテロイの風車、特徴的な給水塔が目を引き、ポブラ並木通りやラットウム湖沿いの散歩は滞在を楽しませてくれることでしょう。特にフォーラム・ヴァッサートウムがあることから、ランク・ラットウムは「コンサート・レビュー劇場、いわゆるメアブッシュ市の劇場区域」になりました。歴史の長い TuS トロイドイチュは、ランク・ラットウムがとりわけハンドボールで強い所以です。

シュトリュンプは市確立以来、おそらく最も変化があった区域です。およそ 6,000 人が現在、地形的にメアブッシュ市中心部と言われるこの場所で高級住宅に住んでいます。「古城」は、市中心部で猪が放されている唯一の場所です。シュトリュンプは音楽学校やメアブッシュ市ギムナジウム校で知られる区画です。昔、この町が農業中心に作られてからというもの、今日までメアホーフやメンクスホーフなど今も古い農場建築物が残っています。

ラングスト・キーストとイルフェリッヒは農業中心部に属しており、ずっと以前からメアブッシュの都市構造計画によって開発されてきました。メア修道院の経済力によりとりわけ大きな農場や不動産物件、小さな村落があり、その周辺には後の村々やメアブッシュの市中心部が建設されました。1,100 年の歴史を顧みることが出来る田舎町の間に挟まれています。ここではまだ農場で卵やジャガイモを購入することができ、馬術が盛んです。カイザースウェルトへと続く道路とライン川の畔は観光トラムカードにもなっています。

北部のメアブッシュ市カーニバル中心地、ニーストにも同じことが言えます。町そのものはこの十年が過ぎ行く中で大きく変わりましたが、田舎と農場の雰囲気は未だに残っています。町の東部からライン川の畔まで続くイチゴ畑と馬牧場に昔ながらの農場が未だに素敵な景色を創り出しています。人々は心から自分たちの「自然な美しさ」を称え、愛しています。市と市民団体の協力で町の中心地は田舎から新しく変革を見せています。

オッサム・ペーピングホーフエンはメアブッシュ市の北西部端に位置しています。ペッシュ城とアーレンベルク家の所以で現在まで歴史的な町として知られています。地形的にはヘーレンブッシュと広く開けた土地がオッサム・ペーピングホーフエンを魅力的に見せています。見どころはなんとと言ってもヘーレンブッシュの縁に建つオッサムの教会とグリプスヴァールドの家です。ニーストもオッサム・ペーピングホーフエンと同様に最近開発が進んでおり、「私たちの町には未来がある」という地区・地域対抗コンペで一位に輝きました。

数字でみるメアブッシュ市 概要

人口 居住者：約 55,000 人
8 地区・地域ビューダリッヒ、オスタート、ランク・ラットウム、
シュトリュンプ、オッセム・ペーヅィングホーフェン、ニースト、
ラングスト・キースト、イルフェリッヒ
市で一番大きな区画：ビューダリッヒ、居住者は約 21,600 人。
市で一番小さな区画：イルフェリッヒ、居住者は約 680 人。
1 平方 km 辺りの居住者：約 860 人
外国人人口で多くを占めるのは、日本人とトルコ人
全体の外国人比率：9.6%

市概要： メアブッシュ市の都市部は 64.3 平方 km ほどで、
2/3 が木々や緑豊かな農村地域です。

距離

北から南： 12km
東から西： 8km

一番高い建築物：ビューダリッヒ中心部の聖マウリティウス教会、
53 メートル高

南部のメンヒェンヴェールトから北部のニーストまで続く、
ライン川の距離は約 11km

外周： 市境界の長さ 41.6km
近隣の市： デュッセルドルフ、ノイス、クレフェルド、
デュイスブルク、ヴィルリッヒ、カースト

訪問客用情報： ホテル、ゲストハウス、ペンションそして民宿など全体で
約 620 の宿泊ベッドが備えられています。

スポーツ情報： スポーツ団体、学校、レジャーのため 30 の最新スポーツ施設・
スポーツホールが用意されています。

交通関係： 交通信号機数： およそ 8,000 機
市町村道： 約 180km
連邦道路・国道・地方道： 約 72km
アウトバーン 3 線： A57、A52、A44
自転車用車線距離（居住地域内）： 32km、
郊外 32km
農道 133km
ライン川距離： 11.7km
登録乗用車数： 約 28,000 台

メアブッシュ市 — 市長

報道・広報課

Dorfstraße 20 - 40667 Meerbusch

電話番号： 02132/916-0 — www.meerbusch.de